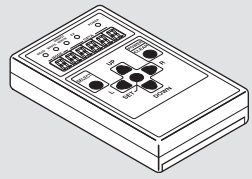
# AnyWire System Product Guide（製品説明書）

# AnyWire Address Writer

# ARW-04



赤外線非接触型　リモートヘッド装着対応

■初めてご使用になる場合
【内部設定】の内容（P6～8）をご確認ください。

## 【安全上のご注意】

安全にお使いいただくため、次のような記号と表示で注意事項を示していますので必ず守ってください。

⚠警告　この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

⚠注意　この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容です。

⚠警告

○システム安全性の考慮
本システムは、一般産業用であり安全確保を目的とする機器や事故防止システムなど、より高い安全性が要求される用途に対して適切な機能を持つものではありません。
○設置や交換作業の前には必ずシステムの電源を切ってください。
○ダイレクトモードでの設定変更は、書き込んだ時点で変更値に更新されます。アドレス変更などでは思わぬ動作につながる可能性がありますので安全に十分配慮の上ご使用ください。

⚠注意

○システム電源
DC24V安定化電源を使ってください。安定化電源でない電源の使用はシステムの誤作動の原因となります。
○高圧線、動力線との分離
AnyWireシステムは高いノイズマージンを有していますが、伝送ラインや入出力ケーブルと高圧線や動力線とは離してください。
○コネクタ接続、端子接続
・コネクタ、接続ケーブルに負荷が掛かったり外れたりしないよう、ケーブル長さ、ケーブル固定方法などに配慮してください。
・コネクタ内部、また端子台には金属くずなどが混入しないよう注意してください。
・金属くずによる短絡、誤配線は機器に損傷を与えます。
○機器に外部からのストレスが加わる様な設置は避けてください。故障の原因となります。
○伝送ラインが動作している時に、伝送ラインとスレーブユニットの接続を切断したり再接続したりしないでください。誤作動の原因となります。
○AnyWireシステムは下記事項に定められた仕様や条件の範囲内で使用してください。

## 【特　長】

・AnyWireシステムのユニットで、設定ポートを持つユニットのアドレス番号や動作仕様の設定に使用します。
このライタによって非接触でアドレス番号、パラメータを設定する事が可能です。
・読み出し、書き込み、ができます。
・本体は小型で電池駆動のため、電源コードが無くどこにでも携帯可能です。
・アドレス番号は7セグ表示器で表示され、直接十進数で扱えるので暗い場所でスイッチが見づらい、設定値を計算しなければならないといった不便が無くなります。
・別売で、狭小箇所や小型ユニットに対する書き込みがし易くなるリモートヘッド（ARW-RH）が用意されています。
・電源を切り忘れても電池を保護する、自動シャットアウト機能付です。
（設定途中の状態は、設定前内容に戻ります）

## 【梱包品について】

| | |
|---|---|
| ARW-04 | ・・・ 1 |
| 単4型アルカリ乾電池 | ・・・ 2 |

## 【保証について】

■保証期間
納入品の保証期間は、ご注文主のご指定場所に納入後1箇年とします。

■保証範囲
上記保証期間中に、本取扱説明書にしたがった製品仕様範囲内の正常な使用状態で故障が生じた場合は、その機器の故障部分の交換または修理を無償で行ないます。
ただし、つぎに該当する場合は、この保証範囲から除外させていただきます。
(1)需要者側の不適当な取り扱い、ならびに使用による場合。
(2)故障の原因が納入品以外の事由による場合。
(3)納入者以外の改造、または修理による場合。
(4)その他、天災、災害などで、納入者側の責にあらざる場合。
ここでいう保証は納入品単体の保証を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

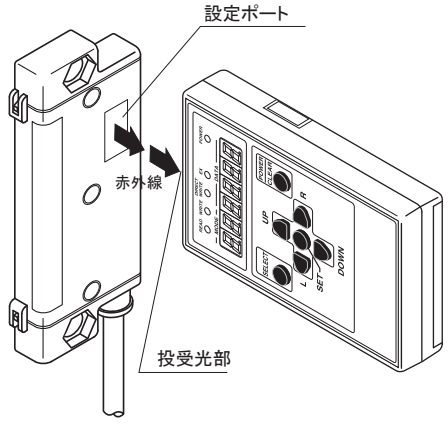
■有償修理
保証期間後の調査、修理はすべて有償となります。
また保証期間中においても、上記保証範囲外の理由による故障修理、故障原因調査は有償にてお受けいたします。

■製品仕様およびマニュアル記載事項の変更
本書に記載している内容は、お断りなしに変更させていただく場合があります。

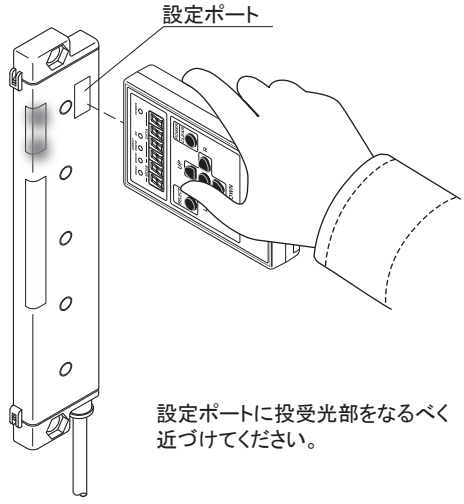
## 【概　要】

ARW-04は赤外線を使い、ターミナルに書き込まれているアドレス番号を読み出したり、ターミナルにアドレス番号を書き込む事が可能です。
赤外線投受光部は、外乱光の影響を受けにくくしており室内の殆どの場所で使えます。
また、拡散型投受光方式により、投受光部をユニットの設定ポートに向け操作することで送受信できます。

■アドレス番号の読み出しのイメージ

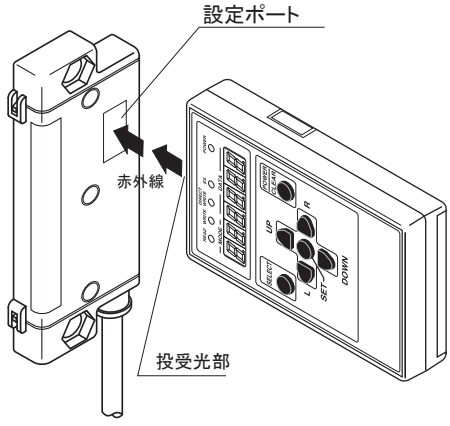



■操作のイメージ



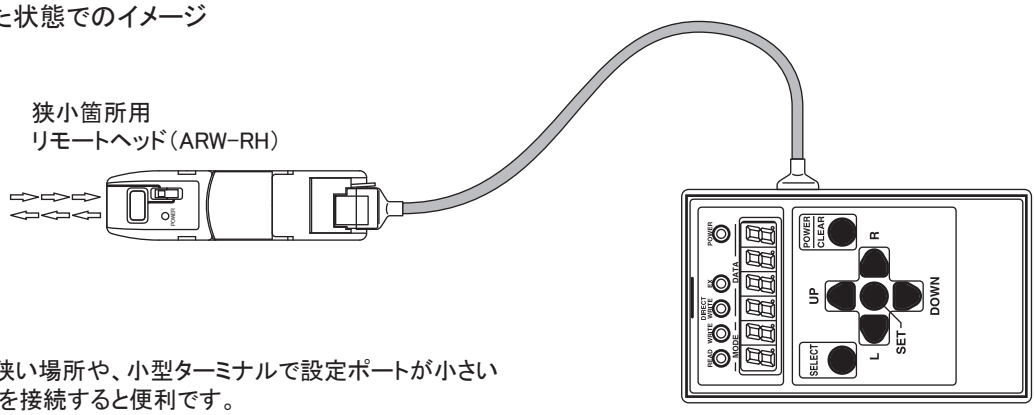

設定ポートに投受光部をなるべく
近づけてください。

■アドレス番号の書き込みのイメージ




注意　ARW-04の投受光部、及び設定するユニットの設定ポートに直射日光等の強い外乱光が当っていると、書き込みや読み出しができない場合があります。
そのような場合は、手などで遮蔽していただきますようお願いします。

■リモートヘッドを接続した状態でのイメージ



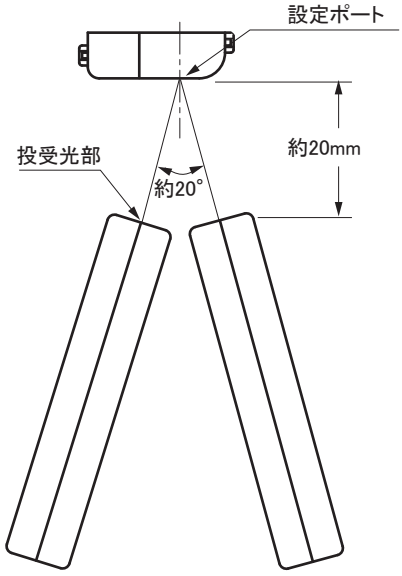

ARW-04本体を近づけにくい狭い場所や、小型ターミナルで設定ポートが小さい場合などには、リモートヘッドを接続すると便利です。

ARW-RHについては、ARW-RH使用マニュアルをご覧ください。

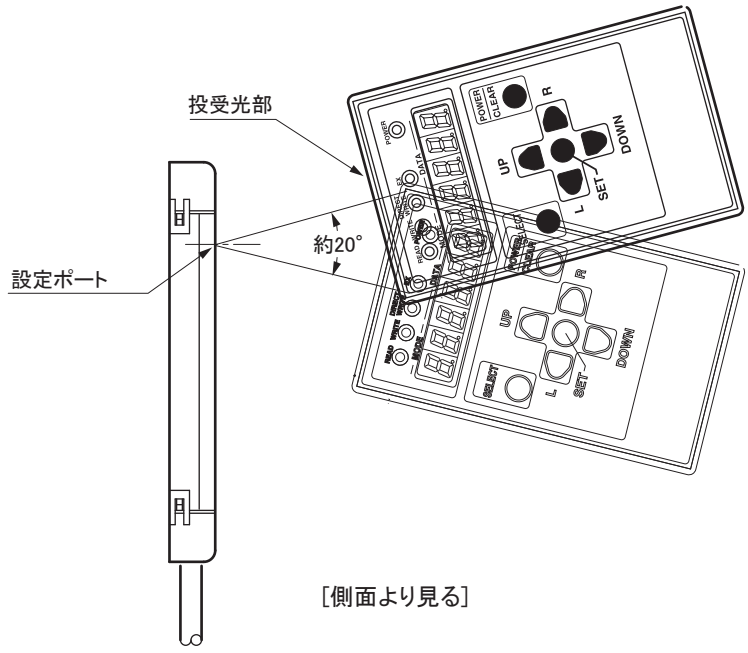
## 【操作範囲】

対象ユニットの設定ポートに、投受光部をできるだけ近づけて操作します。
なお、投受光可能範囲についての目安は下記の通りです。

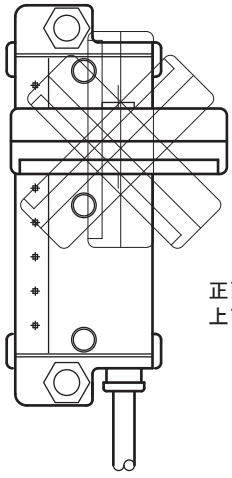
■アドレス番号の読み出し、書き込み時の姿勢目安




［上面より見る］



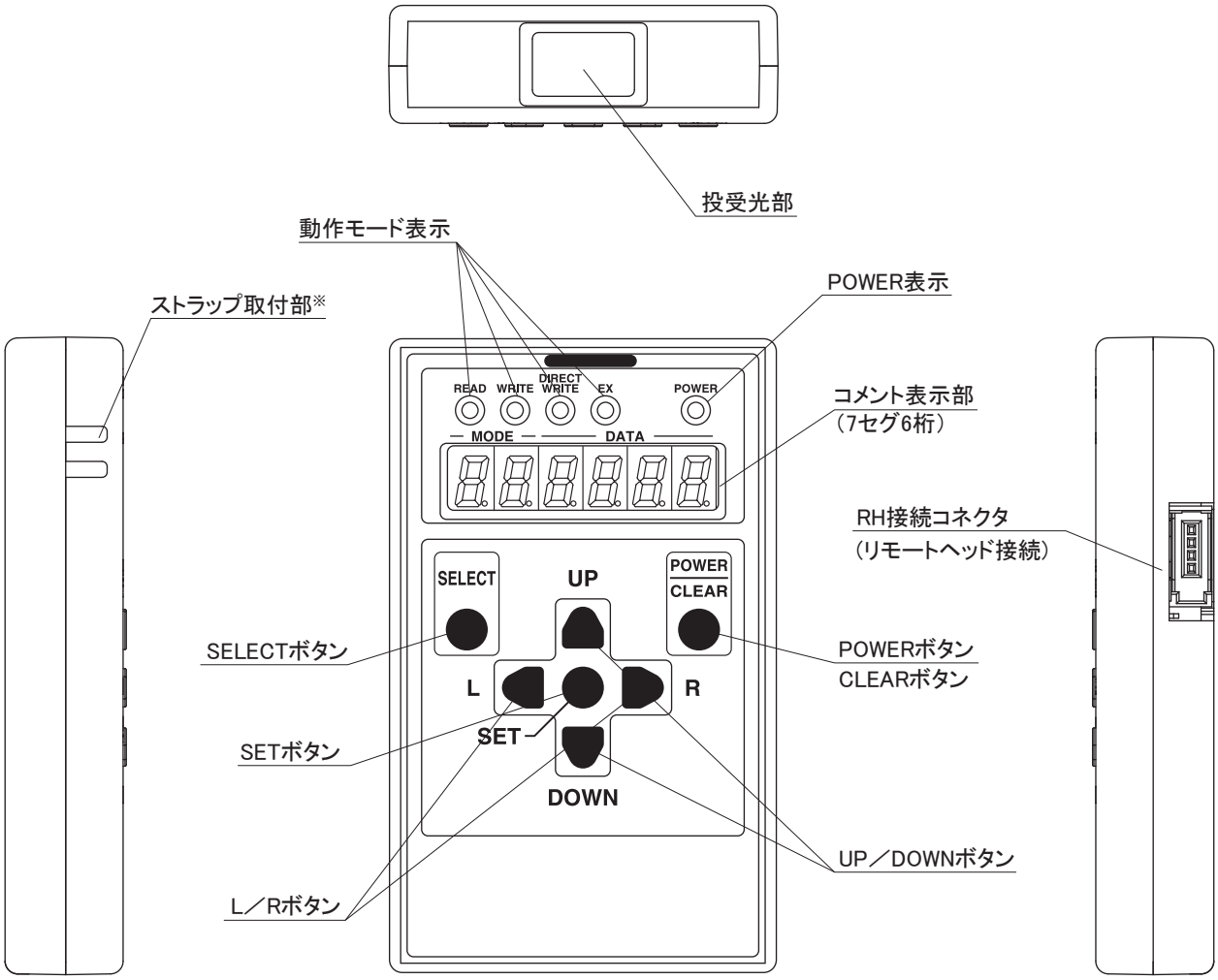

［側面より見る］

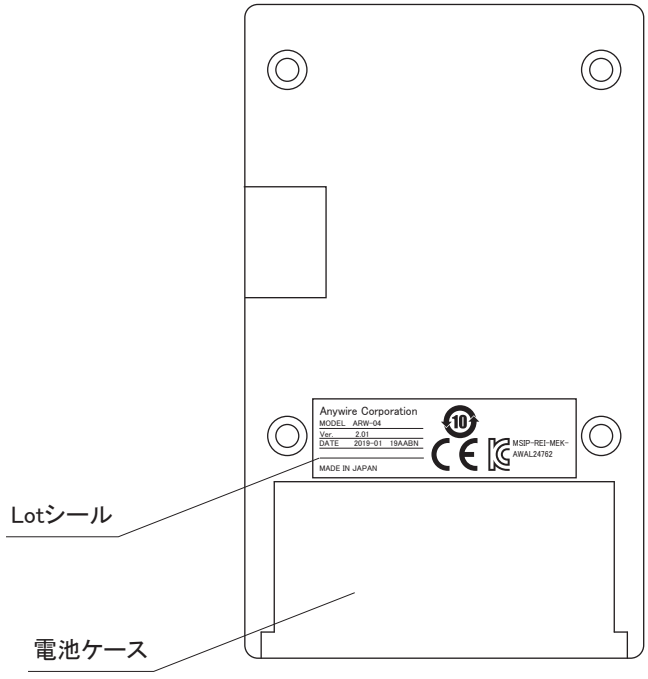


正面に対するARW-04の
上下方向指定はありません

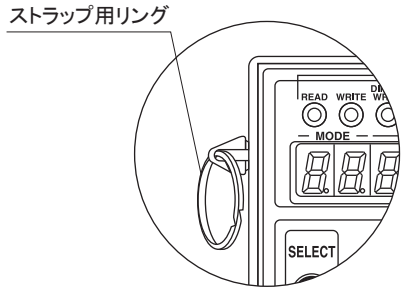
［正面］

## 【各部の名称】




※ DATE 2020-09-20IBBNA 以前のものには
ストラップ取付部がありません。
ストラップ用リングが付いています。



## 【操作モード】

ARW-04の操作には下記の項目があります。

| 項　目 | 機能説明 | 設定値更新タイミング | 選択するモード | 説明ページ |
|---|---|---|---|---|
| 内部設定 | アドレスライタの<br>内部設定を行います | 電源リセット時 | 最大点数設定モード<br>（出荷時：512） | 6、7、8 |
| | | | 最大パラメータ数設定モード<br>（出荷時：18※） | |
| | | | 10進数または16進数表示設定モード<br>（出荷時：10進数） | |
| | | | パラメータ設定値の自動桁上がり有無設定モード<br>（出荷時：桁上がりなし） | |
| | | | アドレスライタモード<br>（出荷時：ARW-04） | |
| ティーチング | ASLINKSENSORや<br>ASLINKAMPの調整を行います | 操作直後 | EXモード | 9 |
| 読み出し | アドレス番号や<br>パラメータの読み出しを行います | ー | READ モード | 10、11 |
| 書き込み | アドレス番号や<br>パラメータの書き込みを行います | 電源リセット時 | WRITE モード | 13、15 |
| 直接書き込み | アドレス番号や<br>パラメータの書き込みを行います | 操作直後 | DIRECT WRITEモード | 14 |

※ LotシールのDATEが2017-4　17D以前の出荷時設定は0

アドレスライタを初めてご使用になる時は、まず次項「内部設定」をご確認いただき、内部設定を済ませてから各種設定作業を行ってください。

注意

DATE2017-5　17E以降の出荷時最大パラメータ数は「18」になっていますので、出荷時状態で直ぐにパラメータの読み書きが可能ですが不必要なパラメータ書き込み防止のため、各製品の取扱説明書をご確認の上、最大パラメータ数の設定を行ってください。

DATE2017-4　17D以前の出荷時最大パラメータ数は「0」になっていますので、パラメータの読み書きには設定が必要です。

最大点数設定についても、出荷時状態（512点）でそのまま使用可能ですが、誤ったアドレス番号の書き込みを防止するためアドレスライタの内部設定を書き込み対象機器に適合させてください。
（例：AnyWireASLINKシステムの場合、最大点数設定は256点）

## 【内部設定】

アドレスライタご使用の前に、設定する対象製品のシリーズやパラメータ数などを確認し、アドレスライタの内部設定を適合させてください。

### ■確認する内容

確認する内容は、「最大点数設定モード」「最大パラメータ数設定モード」「10進数または16進数表示設定モード」「パラメータ設定値の自動桁上がり有無設定モード」「アドレスライタモード」です。

| 出荷時 | 設定項目 | 設定値 | 内容 |
|---|---|---|---|
| Ad 512 | 最大点数設定モード<br>(出荷時:512) | Ad 256 | アドレス番号上限255 |
| | | Ad 512 | アドレス番号上限511 |
| Pa 18 | 最大パラメータ数設定モード<br>(出荷時:18※) | Pa 00<br>～ Pa 19 | パラメータモード時に扱えるパラメータ数<br>(例)Pa 04 パラメータ04に設定した場合、パラメータモード時01～04の4種類が選択可能) |
| dh dEC | 10進数または16進数<br>表示設定モード<br>(出荷時:10進数) | dh dEC | 10進数表記 |
| | | dh hEH | 16進数表記 |
| PA no | パラメータ設定値の<br>自動桁上がり有無設定モード<br>(出荷時:桁上がりなし) | PA yES | パラメータ設定値の変更時に自動桁上げする |
| | | PA no | パラメータ設定値の変更時に自動桁上げしない |
| Nd d04 | アドレスライタモード<br>(出荷時:ARW-04) | Nd d04 | ARW-04 |
| | | Nd d03 | ARW-03(旧アドレスライタモードです。4桁の数値は扱えません。10進数、自動桁上がりあり、で動作します。) |

※ LotシールのDATEが2017-4　17D以前の出荷時設定は0

●最大点数設定モード

誤ったアドレス番号の書き込み防止のため、
お使いになるエニイワイヤのシリーズに応じて設定してください。

| | 最大点数設定 | |
|---|---|---|
| | 256点 | 512点 |
| 設定できるアドレス番号 | 0～255 | 0～511 |

注意　出荷時設定(512点)で、どのシリーズのアドレス設定も可能ですが
AnyWireASLINK、Bittyシリーズの場合、256以上のアドレス番号の書き込みによって予期せぬ動作に繋がる可能性があります。誤ったアドレス番号の書き込みを防止するために、書き込み対象システムと内部設定を合わせてご使用ください。
AnyWireASLINK、Bittyシリーズ　の最大制御点数:入力256点/出力256点(AnyWire DB A20シリーズは入力512点/出力512点)

●最大パラメータ数設定モード

設定できるパラメータの数は、製品によって異なります。
不必要なパラメータの書き込みによる誤動作を防ぐため、製品に応じて設定してください。

注意　DATE2017-5　17E以降の出荷時最大パラメータ数は「18」になっていますので、出荷時状態で直ぐにパラメータの読み書きが可能ですが、不必要なパラメータ書き込み防止のため、各製品に合せた最大パラメータ数の設定を行ってください。
DATE2017-4　17D以前の出荷時最大パラメータ数は「0」になっていますので、内部設定を行うまでパラメータの読み書きはできません。

■設定操作

| | | 操作方法 | 表　示 | 内　容 | 設定音 |
|---|---|---|---|---|---|
| 最大点数設定モード | 1 | SELECTボタンを押しながら<br>POWERボタンをONする | Ad 256<br>または Ad 512 | 現在の最大点数設定モード | ピピピ |
| | 2 | SETボタンを押す | Ad 256<br>または Ad 512 | ドット点滅右に移動 | ピ |
| | 3 | UP/DOWNボタンで設定したい<br>数を表示させ、SETを押す<br>（Rボタンで Ad 256 になる） | SEt<br>Ad 256 例） | SEt表示後、設定値に変わる<br>最大点数を256点に設定した場合 | ピピー |
| | 4 | LボタンまたはCLEARボタンを押す | Ad 256<br>または Ad 512 | ドット点滅左に移動 | ピ |
| 最大パラメータ数設定モード | 5 | UPボタンを1回押し、<br>設定するパラメータ数を設定する | Pn 00<br>～ Pn 19 | 現在の最大パラメータ選択数 | |
| | 6 | SETボタンを押す | Pn 00<br>～ Pn 19 | ドット点滅右に移動 | ピ |
| | 7 | UP/DOWNボタンで設定したい<br>数を表示させ、SETを押す<br>（Rボタンで Pn 00 になる） | SEt<br>Pn 10 例） | SEt表示後、設定値に変わる<br>パラメータ数を10に設定した場合 | ピピー |
| | 8 | LボタンまたはCLEARボタンを押す | Pn 00<br>～ Pn 19 | ドット点滅左に移動 | ピ |
| 表示設定モード | 9 | UPボタンを1回押し、<br>7セグ表示方法を設定する | dh dEC<br>または dh hEH | 現在の7セグ表示方法 | |
| | 10 | SETボタンを押す | dh dEC<br>または dh hEH | ドット点滅右に移動 | ピ |
| | 11 | UP/DOWNボタンで設定したい<br>数を表示させ、SETを押す<br>（Rボタンで dh dEC になる） | SEt<br>dh hEH 例） | SEt表示後、設定値に変わる<br>16進数表示に設定した場合 | ピピー |
| | 12 | LボタンまたはCLEARボタンを押す | dh dEC<br>または dh hEH | ドット点滅左に移動 | ピ |
| パラメータの自動桁上がり有無設定モード | 13 | UPボタンを1回押し、パラメータの<br>自動桁上がりモードの有無を設定する | PA YES<br>または PA no | 現在のパラメータの<br>自動桁上がりの有無 | |
| | 14 | SETボタンを押す | PA YES<br>または PA no | ドット点滅右に移動 | ピ |
| | 15 | UP/DOWNボタンで設定したい<br>数を表示させ、SETを押す<br>（Rボタンで PA no になる） | SEt<br>PA no 例） | SEt表示後、設定値に変わる<br>自動桁上がり無しに設定した場合 | ピピー |
| | 16 | LボタンまたはCLEARボタンを押す | PA YES<br>または PA no | ドット点滅左に移動 | ピ |

| | | 操作方法 | 表　示 | 内　容 | 設定音 |
|---|---|---|---|---|---|
| アドレスライタモード | 17 | UPボタンを1回押し、<br>アドレスライタモードを設定する | Nd 04<br>または Nd 03 | 現在のアドレスライタモード | |
| | 18 | SETボタンを押す | Nd 04<br>または Nd 03 | ドット点滅右に移動 | ピ |
| | 19 | UP/DOWNボタンで設定したい<br>数を表示させ、SETを押す<br>（Rボタンで Nd 04 になる） | SEt<br>ah 04 例） | SEt表示後、設定値に変わる<br>ARW-04モードに設定した場合 | ピピー |
| | 20 | POWERボタンを長押しで、<br>OFFする | | | |

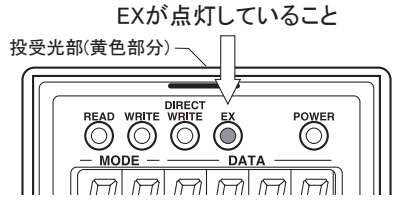
## 【ティーチング・・・EXモード】

ASLINKAMP、ASLINKSENSOR を使用する際に必要な、「ティーチング（使用前にワークの有り無し状態を記憶させる）」操作を行うモードです。

> ⚠注意　ティーチング設定の必要の有無は製品によって異なります。詳しくは各種製品説明書をご確認ください。

■設定操作

| | 操作方法 | 表　示 | 内　容 | 設定音 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | POWERボタンを長押し | 04-1.01 | バージョン表示後 | ピピ |
| | | SELECt | SELECt点滅表示 | |
| 2 | SELECTボタンを押す | ------ | ------点滅表示 | ピ |
| 3 | SELECTボタンを押して<br>EX(赤)表示に合わせる | EX(赤) | SEt on モード選択 | ピ |
| 4 | SETボタンを押す | SEton | SEt on モード確定 | ピ |
| 5 | 該当ユニットがワークを検出する<br>状態にした後、投受光部と設定ポート<br>を合わせてSETボタンを押す | SEoo | 設定中 | ピ |
| 6 | SEton設定 が正しく行われると<br>Goodの表示が出た後、SEton表示<br>に戻る | Good | 正常に完了 | ピ- |
| | | SEton | 設定完了 | |
| 7 | 設定に失敗した場合はSE　Errが表示<br>されるので、投受光部を合わせ直し<br>6項の状態になるまで、再度SETボタン<br>を押す | SE.Err | Err表示 | ピピピ<br>ピピ |
| 8 | SEtonが完了後<br>UPまたはDOWNボタンを1回押す | SEtoFF | SEt oFF モード | |
| 9 | 該当ユニットにワークが無い状態で、<br>投受光部と設定ポートを合わせて<br>SETボタンを押す | SEoo | 設定中 | ピ |
| 10 | SEtoFF設定 が正しく行われると<br>Goodの表示が出た後、SEtoFF表示<br>に戻る | Good | 正常に完了 | ピ- |
| | | SEtoFF | 設定完了 | |
| 11 | 設定に失敗した場合はSE　Errが表示<br>されるので、投受光部を合わせ直し<br>10項の状態になるまで、再度SETボタン<br>を押す | SE.Err | Err表示 | |
| 12 | ・Err表示を消す<br>・他のモードに切り換える<br>CLEARボタンを押す | | | |
| 13 | 次の設定に移行する場合は、<br>SELECTボタンを押す | READ(緑)<br>WRITE(黄)<br>DIRECT WRITE(橙)<br>EX（赤） | | |



## 【読み出し・・・READモード】

スレーブユニットに設定されているアドレスやパラメータを読み出すモードです。
対象スレーブユニットに伝送信号や電源正しくが供給されている事を確認してください。

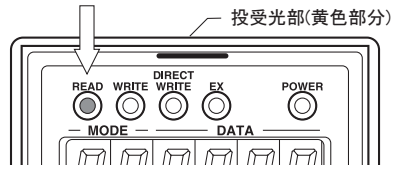
■アドレスの読み出し操作

| | 操作方法 | 表　示 | 内　容 | 設定音 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | POWERボタンを長押し | 04-101 | バージョン表示後 | ピピ |
| | | SELECt | SELECt点滅表示 | |
| 2 | SELECTボタンを押す | ------ | ------点滅表示 | ピ |
| 3 | SELECTボタンを押して<br>READ(緑)表示をに合わせる | READ(緑) | READモード選択 | ピ |
| 4 | SETボタンを押す | Ad.---- | READモード確定 | ピ |
| 5 | 対象ユニットの設定ポートに投受光部を合せてSETボタンを押す | Ad009 | 読み出し中 | ピ |
| 6 | 読み出しに成功した場合<br>B はワードを表します | Ad.-16 例) | アドレス番号を表示<br>読み出したアドレス番号<br>がビットアドレス16の場合 | ピ- |
| | | AdB-07 例) | アドレス番号を表示<br>読み出したアドレス番号<br>がワードアドレス7の場合 | |
| 7 | 引き続き、別のユニットのアドレスの読み出し操作(5項)を行うことができます | | | |
| 8 | 読み出しに失敗した場合 | Ad.Err | Err表示 | ピピピ<br>ピピ |
| 9 | 投受光部を合わせ直し、再度<br>SETボタンによる読み出し操作(5項)<br>を繰り返す | | | |
| 10 | ・Err表示を消す<br>・他のモードに切り換える<br><br>CLEARボタンを押す | Ad.---- | READモード表示に<br>戻る | |
| 11 | 次の設定に移行する場合<br>SELECTボタンを押して<br>希望モードの表示を点灯 | READ(緑)<br>WRITE(黄)<br>DIRECT WRITE(橙)<br>EX(赤) | | ピ |

**⚠注意**

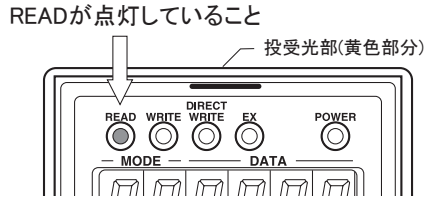
ワード対応スレーブユニットのワードアドレスを読み出すには、
Ver.2.01以降のアドレスライタが必要です。
Ver.1.02以前のアドレスライタを使ってワード対応スレーブユニットの
ワードアドレスの読み出しをすると、「Ad.　999」が表示されます。

READが点灯していること



■パラメータの読み出し操作

| | 操作方法 | 表　示 | 内　容 | 設定音 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | POWERボタンを長押し | 04-1.01 | バージョン表示後 | ピピ |
| | | SELECt | SELECt点滅表示 | |
| 2 | SELECTボタンを押す | ------ | 点滅表示 | ピ |
| 3 | SELECTボタンを押して<br>READ(緑)表示に合わせる | READ(緑) | READモード選択 | ピ |
| 4 | SETボタンを押す | Ad.---- | READモード確定 | ピ |
| 5 | UP/DOWNボタンで、読み出したい<br>パラメータ番号を選択 | 01.---- 例) | パラメータ1を選択する場合 | |
| 6 | 投受光部をユニットに合せて<br>SETボタンを押す | 01.oooo | 読み込み中 | ピ |
| 7 | 読み出しに成功した場合 | 01.--50 例) | 読み込んだパラメータ値の例 | ピ– |
| 8 | 引き続き、別のユニットのパラメータの<br>読み出し操作(5・6項)を行うことが<br>できます | | | |
| 9 | 読み出しに失敗した場合 | 01.Err | Err表示 | ピピピ<br>ピピ |
| 10 | 投受光部を合わせ直し、再度<br>SETボタンによる読み出し操作(6項)<br>を繰り返す | | | |
| 11 | ・Err表示を消す<br>・他のモードに切り換える<br>CLEARボタンを押す | 01.---- 例) | READモード表示に戻る | |
| 12 | 次の設定に移行する場合<br>SELECTボタンを押して<br>希望モードの表示を点灯 | READ(緑)<br>WRITE(黄)<br>DIRECT WRITE(橙)<br>EX(赤) | | ピ |



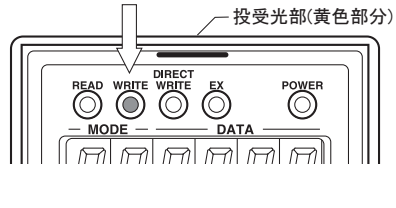
## 【書き込み・・・WRITE/DIRECT WRITEモード】

スレーブユニットに設定されているアドレスやパラメータを書き込むモードです。
対象スレーブユニットに伝送信号や電源正しくが供給されている事を確認してください。

| モード | 内容 |
|---|---|
| WRITE | 書き込んだ後、ターミナルの電源、伝送信号を一旦切って<br>再投入すると、書き込み値が有効となります。 |
| DIRECT WRITE | 書き込むと同時に書き込み値が有効となります。<br>＊電源を落とさず変更が可能なため手軽な方法ですが<br>思わぬターミナル動作によって事故の無いよう<br>操作には注意が必要です。 |

## ■アドレス番号の書き込み操作　WRITEモードで《ビットアドレス》を書き込む例

| | 操作方法 | 表　示 | 内　容 | 設定音 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | POWERボタンを長押し | 04-101 | バージョン表示後 | ピピ |
| | | SELECt | SELECt点滅表示 | |
| 2 | SELECTボタンを押す | ------ | 点滅表示 | ピ |
| 3 | SELECTボタンを押して<br>WRITE(黄)表示に合わせる | WRITE(黄) | WRITEモード選択 | ピ |
| 4 | SETボタンを押す | Ad.---0 | WRITEモード確定 | ピ |
| 5 | SETボタンを押す | Ad.--0. | ドット点滅が右に移動 | ピ |
| 6 | UP/DOWNボタンで書き込みたい<br>アドレス番号を表示<br>設定値が0の場合、Rボタンを操作すると+50づつ<br>加算され、初期設定により255又は511を超えて<br>加算すると0に戻る<br>設定値が0以外の場合、Rボタンを押すと0になる | Ad.--4. 例) | ビットアドレス4に<br>設定する場合 | |
| 7 | 対象ユニットの設定ポートに投受光部を<br>合わせてSETボタンを押す | Ad.oooo | 書き込み中 | ピ |
| 8 | 書き込みに成功した場合 | Good | Good点滅後 | ピ- |
| | | Ad.--4. 例) | 書き込んだ値を表示 | |
| 9 | 引き続き、別のユニットのアドレスの<br>書き込み操作(6・7項)を行うことが<br>できます | | | |
| 10 | 書き込みに失敗した場合 | Ad.Err | Err表示 | ピピピ<br>ピピ |
| 11 | 投受光部を合わせ直し、再度SETボタン<br>による書き込み操作(7項)を繰り返す | | | |
| 12 | ・Err表示を消す<br>・他のモードに切り換える<br><br>CLEARボタンを押す | Ad.--4. 例) | WRITEモード表示に<br>戻る | ピ |
| 13 | CLEARボタンを押す | Ad.--0. 例) | ドット点滅が左に移動 | ピ |
| 14 | 次の設定に移行する場合<br>SELECTボタンを押して<br>希望モードの表示を点灯 | READ(緑)<br>WRITE(黄)<br>DIRECT WRITE(橙)<br>EX(赤) | | ピ |

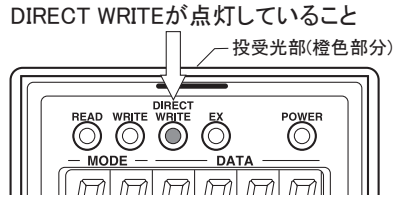


■アドレス番号の書き込み操作　DIRECT WRITEモードで《ワードアドレス》を書き込む例

| | 操作方法 | 表　示 | 内　容 | 設定音 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | POWERボタンを長押し | 04-2.01 | バージョン表示後 | ピピ |
| | | SELECt | SELECt点滅表示 | |
| 2 | SELECTボタンを押す | ------- | 点滅表示 | ピ |
| 3 | SELECTボタンを2回押して<br>DIRECT WRITE(橙)表示に合わせる | DIRECT WRITE(橙) | DIRECT WRITEモード選択 | ピ |
| 4 | SETボタンを押す | Ad.---0 | DIRECT WRITEモード確定 | ピ |
| 5 | SETボタンを押す | Ad.---0. | ドット点滅が右に移動 | ピ |
| 6 | Lボタンを3回押す | Ad.---0 | ドット点滅が左に移動 | |
| 7 | UP/DOWNボタンを押して<br>Bを表示する | Ad.B--0 | B はワードを表します | ピ |
| 8 | Rボタンを3回押す | Ad.B--0. | ドット点滅が右に移動 | |
| 9 | UP/DOWNボタンで書き込みたい<br>アドレス番号を表示<br>DATAが0の場合、Rボタンを操作すると+50ずつ<br>加算されます<br>DATAが0以外の場合、Rボタンを押すと0になります | Ad.B--4. 例) | ワードアドレス4に設定する<br>場合 | |
| 10 | 対象ユニットの設定ポートに投受光部を<br>合わせてSETボタンを押す | Ad°o°o | 書き込み中 | ピ |
| 11 | 書き込みに成功した場合 | Good | Good点滅後 | ピ- |
| | | Ad.B--4. 例) | 書き込んだ値を表示 | |
| 12 | 引き続き、別のユニットのアドレスの<br>書き込み操作(6・7項)を行うことが<br>できます | | | ピ |
| 13 | 書き込みに失敗した場合 | Ad.Err | Err表示 | ピピピ<br>ピピ |
| 14 | 投受光部を合わせ直し、再度SETボタン<br>による書き込み操作(7項)を繰り返す | | | |
| 15 | ・Err表示を消す<br>・他のモードに切り換える<br>CLEARボタンを押す | Ad.B--4. 例) | DIRECT WRITEモード<br>表示に戻る | ピ |
| 16 | CLEARボタンを押す | Ad.B--0 | ドット点滅が左に移動 | ピ |
| 17 | 次の設定に移行する場合<br>SELECTボタンを押して<br>希望モードの表示を点灯 | READ(緑)<br>WRITE(黄)<br>DIRECT WRITE(橙)<br>EX(赤) | | ピ |

**⚠注意**

ワード対応スレーブユニットのアドレスを書き込むには、Ver.2.01以降のアドレスライタが必要です。ワード非対応スレーブユニットにワードアドレスの書き込みを行うと、エラー「E-0306」が表示されます。

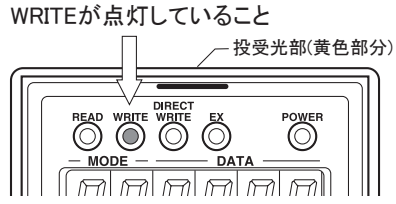


## ■パラメータの書き込み操作 ※WRITEモードで書き込みの例

| | 操作方法 | 表　示 | 内　容 | 設定音 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | POWERボタンを長押し | 04-1.01 | バージョン表示後 | ピピ |
| | | SELECt | SELECt点滅表示 | |
| 2 | SELECTボタンを押す | ------- | 点滅表示 | ピ |
| 3 | SELECTボタンを数回押し<br>WRITE(黄)表示に合わせる※ | WRITE(黄) | WRITEモード選択 | ピ |
| 4 | SETボタンを押す | Ad.---0 | WRITEモード確定 | ピ |
| 5 | UP/DOWNを押し、書き込みたい<br>パラメータ番号を選択する | 01.---0 例) | パラメータ01を選択する場合 | ピ |
| 6 | SETボタンを押す | 01.---0. 例) | ドット点滅が右に移動 | ピ |
| 7 | UP/DOWNボタンで書き込みたい<br>パラメータ変数を選択する | 01----1. 例) | パラメータ01 を変数“1”<br>に設定する場合 | ピ |
| 8 | 対象ユニットの設定ポートに投受光部<br>を合わせてSETボタンを押す | 01°o°o | 書き込み中 | |
| 9 | 書き込みに成功した場合 | Good | Good点滅後 | ピ- |
| | | 01----1. 例) | 書き込んだ値を表示 | |
| 10 | 引き続き、別のユニットにパラメータの<br>書き込み操作(7・8項)を行うことができます<br>(CLEARボタンで戻るとパラメータ番号の変更<br>(5・6項)可能) | | | |
| 11 | 書き込みに失敗した場合 | 01.Err | Err表示 | ピピピ<br>ピピ |
| 12 | 投受光面を合わせ直し、再度SETボタン<br>による書き込み操作(8項)を繰り返す | | | |
| 13 | ・Err表示を消す<br>・他のモードに切り換える<br>CLEARボタンを押す | 01.----1. 例) | DIRECT WRITEモード<br>表示に戻る | ピ |
| 14 | CLEARボタンを押す | 01.---0 | ドット点滅が左に移動 | ピ |
| 15 | 次の設定に移行する場合<br>SELECTボタンを押して<br>希望モードの表示を点灯 | READ(緑)<br>WRITE(黄)<br>DIRECT WRITE(橙)<br>EX(赤) | | ピ |

**⚠注意**

スレーブユニットが対応していないパラメータ番号や、設定可能範囲外の変数の書き込みをすると「E-0303」が表示されます。

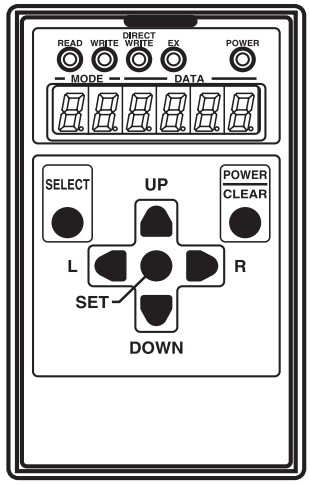


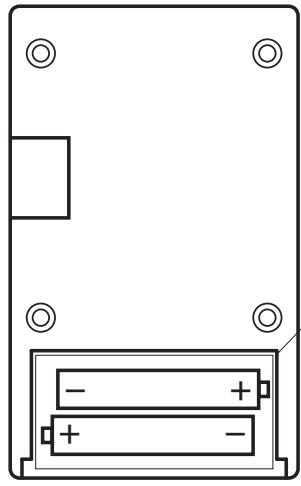
## 【電池交換】

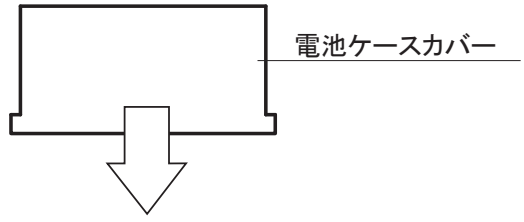
POWER表示灯が点滅した場合は、電池の寿命ですので交換してください。

### ■電池交換

| | 状　態 | 表　示 | 意　味 |
|---|---|---|---|
| 1 | POWERボタンON | POWER表示灯点滅<br>CHAnGE | 電池の寿命 |
| 2 | POWERボタンOFF | | 電池の交換 |

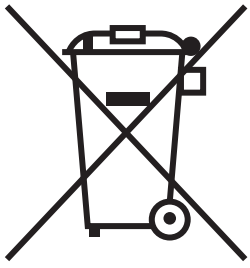



矢印方向に引いてください

for battery
EU



注意

- 必ず単4型アルカリ乾電池をご使用ください。
- 電池は＋、－の方向を正しく入れてください。
  故障や破裂などの原因となります。
- 使用済み電池は、各自治体等の規定に従い、
  適切に処理してください。

## 【仕　様】

### ■一般仕様

| | |
|---|---|
| 使用電源 | 単4型アルカリ乾電池　2本 |
| 使用周囲温度 | 0～+55℃ |
| 使用周囲湿度 | 10～90%RH　結露なきこと |
| 保存温度 | −25～+75℃ |
| 雰囲気 | 腐食性ガスがないこと |
| 使用標高※1 | 0～2000m |
| 汚染度※2 | 2以下 |

※1 標高 0m の大気圧以上に加圧した環境で使用、 または保存しないでください。
誤動作の原因となります。

※2 使用される環境における、 導電性物質の発生度合を示す指標です。
汚染度 2 は、 非導電性の汚染しか発生しません。
ただし、 偶発的な凝結によって一時的な導電が起こりうる環境です。

### ■個別仕様

| | |
|---|---|
| 質　　量 | 100g(電池含む) |

### ■電池の種別

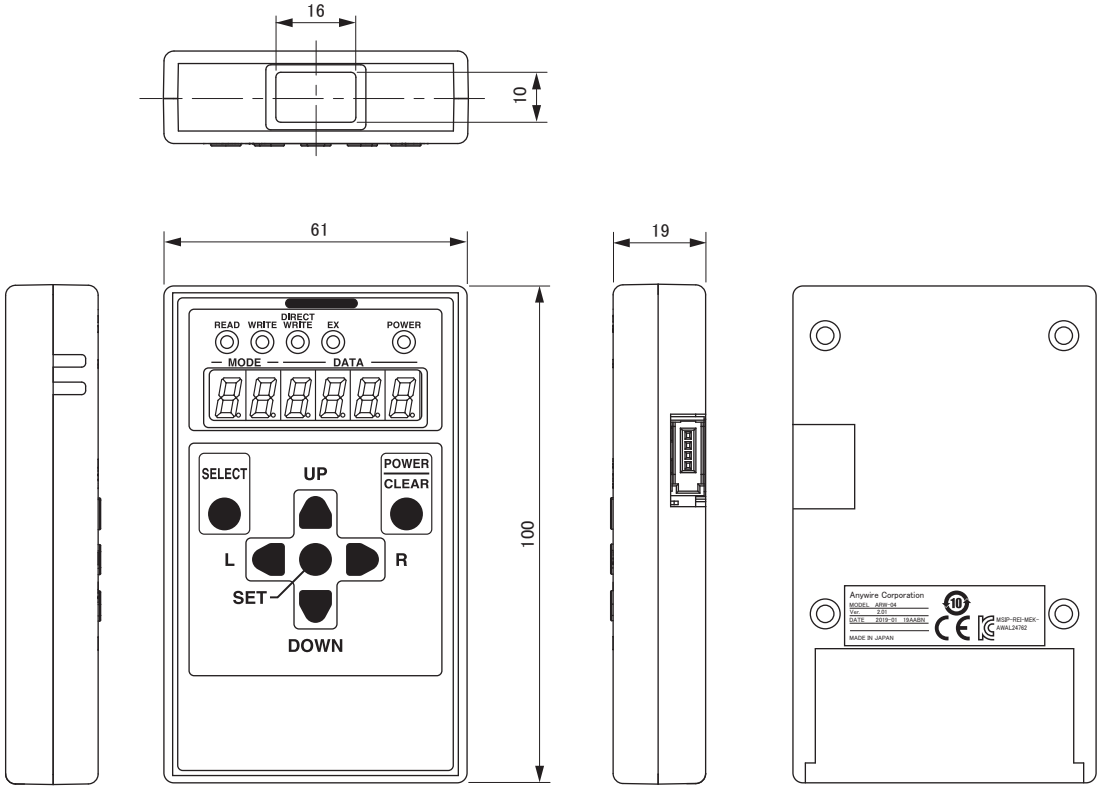
| | |
|---|---|
| 電池の種類 | 単4型アルカリ乾電池 |

for battery
EU

注:このシンボルマークは欧州連合内の国においてのみ有効です。
このシンボルマークは、EU指令2006/66/ECの第20条「最終ユーザーへの情報」および付属書Ⅱにて指定されています。
エニイワイヤの製品は、リサイクルおよび再利用を考慮して、高品質の材料や部品類を使用して設計、製造されています。
上記シンボルは、電池および蓄電池を廃棄する際に、一般ゴミとは分別して処理する必要があることを意味しています。
上記のシンボルの下に元素記号が表示されている場合、基準以上の濃度で電池または蓄電池に重金属が含有されていることを意味しています。
濃度の基準は次の通りです。
Hg:水銀(0.0005%)、Cd:カドミウム(0.002%)、Pb:鉛(0.004%)
欧州連合では使用済みの電池および蓄電池に対して分別収集システムがありますので、各地域の収集/リサイクルセンターにて、電池および蓄電池を正しく処理していただけるようお願いいたします。
私達の地域環境を保護するために、どうかご協力をお願いいたします。

## 【外形寸法図】

単位：mm



## 【中国版RoHS指令】

电子信息产品上所示标记是依据SJ/T11364-2006规定,按照电子信息产品污染控制标识要求制定。
本产品的环保使用期限为10年。如果遵守产品说明书中的操作条件使用电子信息产品,不会发生因产品中的有害物质泄漏或突发异变而引发严重的环境污染,人身事故,或损坏财产等情况。

的产品中有害物质的名称及含量

| 部件名称 | 有害物质 | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 铅<br>(Pb) | 汞<br>(Hg) | 镉<br>(Cd) | 六价铬<br>[Cr(VI)] | 多溴联苯<br>(PBB) | 多溴二苯醚<br>(PBDE) |
| 安装基板 | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 框架 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |

本表格依据SJ/T11364的规定编制。

○:表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。

×:表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572规定的限量要求。

基于中国标准法的参考规格:GB/T15969.2

## 【連絡先】


Anywire 株式会社エニイワイヤ

本　社　:〒617-8550　京都府長岡京市馬場図所 1
TEL: 075-956-1611(代) / FAX: 075-956-1613

営業所　:西日本営業所、東日本営業所、中部営業所、九州営業所

http://www.anywire.jp/

お問い合わせ窓口:

■ テクニカル サポートダイヤル

受付時間　9:00～17:00(土日祝、当社休日を除く)

**075-952-8077**

■ メールでのお問い合わせ　info@anywire.jp



Printed in Japan 2015,2016,2017,2019,2020,2021　UMA-11308AN